

Q ① 再び「都構想」を争点にするって…

## A 「都構想ノー」の 民意への挑戦で、許されません

橋下市長は、「都構想」を大阪市長選挙と知事選挙の争点にすると表明しました。「都構想」にすぎた、生き残りを図るため、住民投票で示された民意を覆えそうとするもので許されません。各党も「住民投票で市民はものすごく悩みながら投票したのに、その結果をどう受け止めているのか(自民党)」、「否決されたばかりなのにありえない(公明党)」、

「他に目玉になる公約が何もないと言っているのと同じだ(民主党)と批判しています。関西の財界人からも「5月の住民投票で決着したと認識しており、(再び蒸し返されるのは)極めて残念(関西経済同友会村尾代表幹事)」との意見がでています。

## 都構想「反対」

「産経」2015年5月18日



## 橋下市長は発言に 責任を持つべきです

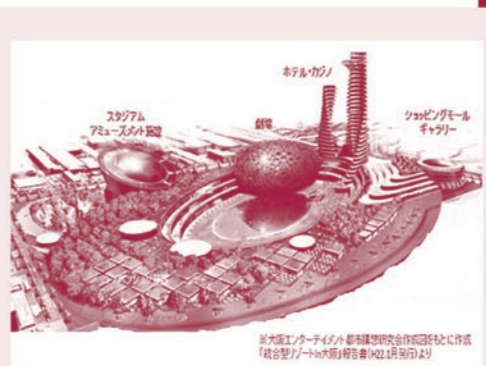
「(住民投票は)最高の民主主義」  
「最初で最後のチャンス」  
「何度もやるものではない。1回限り」  
「都構想が受け入れられなかった。やっぱり間違っていたということなんでしょね。(市民は)いろんなことを考え、悩まれ、非常に重い判断をされたと思う」

Q ② 否決された「都構想」は何だった？

## A ぐらしを削ってムダな 大型開発するための体制づくり

維新はありもしない二重行政を持ち出し、「都構想」で大阪がよくなると宣伝しました。しかし、「都構想」は、①大阪市をなくし、バラバラにする②住民サ

カジノは「大阪都」の  
「試金石」(橋下市長)



カジノを含む総合型リゾートイメージ図

ビスを削って、カジノなどムダづかいに集中投資する③一人の指揮官でやりたい放題するためのものです。市民は、維新のごまかしを見破り、否決したのです。今、維新は、「新しい都構想」などのごまかしはじめています。しかし、区割りや名称の手直しをするだけで、大阪市をなくすなど3つの大問題はそのままです。

## 維新が「都構想」で やろうとしている 施設つぶし

施設・事業	年間利用者数	削減方向
子育てプラザ	69万人	24カ所 ⇒18カ所
老人福祉センター	87万人	26カ所 ⇒18カ所
スポーツセンター	約220万人	24カ所 ⇒18カ所
プール	360万人	24カ所 ⇒9カ所
教育相談事業	3432件	14カ所 ⇒9カ所
クレオ大阪	126万人	統廃合

医療、福祉、文化は  
国・府・市で二重、三重に  
やるべきです

多くの方に  
利用されていて  
ムダなものはありません

「二重行政問題を解明するプラスター」

Q ③ またウソとペテンで言ってくる?

## A 市民は賢明。何度もだまされません

橋下市長は、ウソとペテンでしか勝てないと思っているようで、4年前の市長選挙では「だまされなさい。大阪市の未来は明るいです。バラバラにしません」というビラを発行。住民投票では、「『都構想』の効果額は4000億円」「住民サービスは向上」「旧WTCビルなどは二重行政のムダ」と宣伝しました。

これに市民は、「大阪市はなくなり、バラバラにされる」「効果額は1億円。コストを入れるとマイナスになる」「特別区の税収は4分の1に減り、住民サービスが切り捨てられる」「旧WTCビルはバブル期

の政策の失敗、二重行政でつくったのではない」など、橋下市長のウソとペテンを明らかにする反論は、共感と理解を広げ、住民投票で否決にまで追い込みました。市民は何度もだまされません。

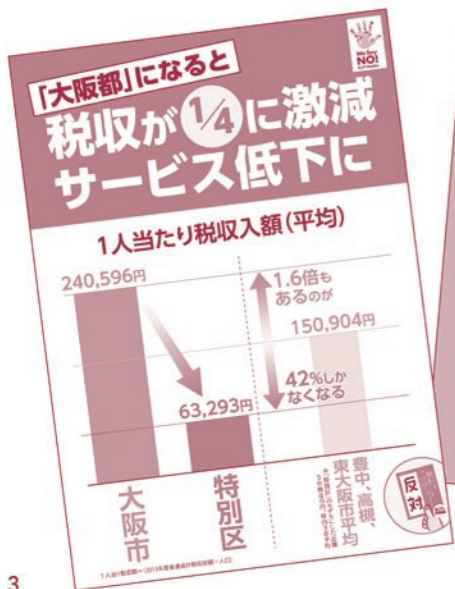
大阪維新の会  
体制維新  
維新の挑戦

だまされなさい!! 大阪維新の会は、

- 大阪市をバラバラにはしません。
- 大阪市は潰しません。
- 町会をなくしません。
- 敬老バスをなくしません。

大阪市役所を大改築します! 大阪市役所から各区役所にお金を移し、皆さんに使い道を決めてもらいます。地味なコトをより一層強化します。今は4区区民の1/4は大阪市です。24区、24色の新やな大阪市に変わります!

「大阪市をバラバラにはしません」  
2011年ダブル選挙での  
ペテン・ビラ



2011年の  
ダブル選挙  
の公報

敬老バス維持  
にも  
反対

“大阪市民は  
ぜいたく三味”(橋下市長)と  
敬老バスの有料化

2015年  
住民投票の公報

敬老バスは  
市営交通以外にも拡大!

で信用  
NO!

「反対」